

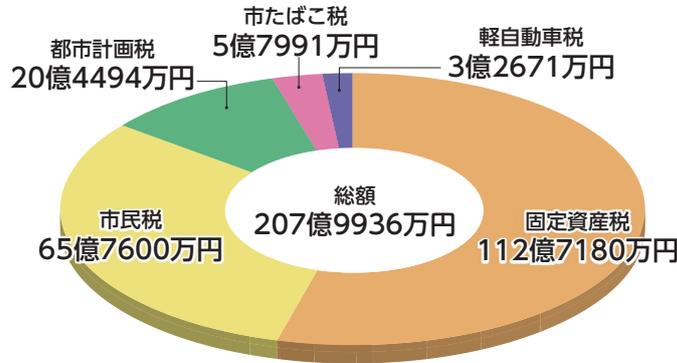
市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。

市税の負担状況

1人あたり
136,270円

1世帯あたり
304,851円

市税収入済額内訳



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	9億8922万円
民生債	5億1401万円
衛生債	7686万円
土木・公営住宅債	10億1330万円
消防債	254万円
教育債	56億4599万円
その他	7億4365万円
計	89億8557万円

◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	1492万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	28億8700万円
下水道事業	164億4191万円
計	193億2891万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の令和3年度決算に基づく数値をお知らせします(表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています)。

◆健全化判断比率

(単位：%)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.52
連結実質赤字比率	-	16.52
実質公債費比率	△2.2	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標
 連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
 実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標
 将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標
 早期健全化基準 財政健全化への取組が必要となる基準値

◆資金不足比率

(単位：%)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
水道事業会計	-	
下水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
 経営健全化基準 財政健全化への取組が必要となる基準値

総評・・・刈谷市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。